

実習目的：新しい家族の誕生期にある対象及び家族との関わりを通して、母性看護の特徴、正常経過と健康生活を支える看護を学ぶ。

実習目標：

1. 妊婦健康診査・保健指導・分娩見学を通して、妊娠から分娩期までの看護の実際を学び、身体的、心理・社会的特徴について述べることができる。
2. 受け持ち褥婦の妊娠・分娩の経過を踏まえ、対象者とその家族が健康を保持、増進するための産褥期の看護について述べるができる。
3. 新生児の胎外生活に適応するために必要な看護について述べるができる。
4. 母性看護学実習を通して生命尊重、価値観（母性・父性）を持つことができる。

学習活動	学習活動における 具体的評価規準	評価資料	評価基準（評価の判断の基礎となる標準）			具体的内容	自己評価		評価
			A：10点	B：6点	C：4点		中間	最終	
1. 母性看護学実習の要項を参照し必要な学習準備を行う	(1) 母性看護の特徴や正常経過をふまえた学習を行い、実習に臨んでいる	ゴールシート ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動	実習で学ぶことができるよう必要な学習を十分に行っている	学ぶことができるよう学習をしているが、実習をイメージして活用するには不足がある	学習を行っているが不十分で、実習で活かすことが難しい	妊娠期の母体と胎児の生理的变化、分娩経過と看護、産褥期の退行性変化、進行性変化・心理的特徴と看護、新生児の生理的变化と看護、活用できる社会資源や継続看護			
2. 妊娠から分娩期まで、健康的な生活を送るための看護を学ぶ	(2) 産婦人科外来での妊婦健康診査を通して正常な妊娠経過をたどるための看護を学んでいる	ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動 NST自己評価表 振り返り用紙	健康診査の内容について十分な理解があり、関りを通して妊娠期を支える看護について学んでいる	健康診査の内容は大理解できており、妊婦と関わることもできたが、看護について学びが不足している	健康診査の内容の理解が不十分であり関りもできていない。看護について考えられず感想で終わっている	妊娠期、胎児の発育、妊婦健康診査、保健指導、レオポルド触診法、NST、コミュニケーション技術			
3. 産褥期に起こる異常を回避し、生理的経過をたどるための看護を学ぶ	(3) 受け持ち褥婦との関わりを通して、褥婦の退行性変化について学んでいる。	ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動 分析シート 振り返り用紙 子宮底測定評価表	必要な情報が十分あり、観察からも復古現象を根拠のもとに理解し、促進するための支援について学んでいる	必要な情報や観察から復古現象について理解することができている	必要な情報や観察の視点が不十分で、復古現象について理解することができていない	妊娠・分娩情報（助産録、パルトグラムの情報）、全身および生殖器の退行性変化、復古現象促進ケア、新生児情報			
	(4) 受け持ち褥婦との関わりを通して、褥婦の進行性変化について学んでいる	ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動 分析シート	必要な情報が十分にあり、観察からも進行性変化について理解し、進行性変化を促進するための支援について学んでいる	必要な情報や観察から進行性変化について理解することができている	必要な情報や観察の視点が不十分で、進行性変化について理解ができていない	乳房タイプ、乳頭や乳輪の状態、進行性変化、新生児情報、進行性変化を促進する支援、			

	(5) 受け持ち褥婦との関わりを通して、褥婦の心理状態について学んでいる	ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動 振り返り用紙	関りから心理的变化を理解するとともに、愛着形成を考えた支援について学んでいる	関りから心理的变化について理解することができている	関りはできたが、心理的变化について理解できていない	ルビンの心理過程 母親役割行動、マタニティブルーズ、母子相互作用、愛着形成			
	(6) 受け持ち褥婦の健康的な生活と育児行動獲得への援助が実施できる	ポートフォリオ インパクトシート 行動目標 発言・行動 分析シート 振り返り用紙	対象の産褥経過をふまえ、もてる力を尊重した看護を考え、積極的にできることを行っている	対象の産褥経過をふまえ、もてる力を尊重した看護を考え、できることを行っているが、十分とは言えない	対象の産褥経過の理解が不足し、看護を考えられず、行うこともできていない	復古現象促進ケア、母乳育児支援、心理面の支援、母親役割獲得・愛着形成への援助・継続看護・社会支援			
4. 新生児がどのように胎外生活に適応していくかを理解することができる	(7) 新生児の胎外生活への適応過程を、観察を通して学んでいる	ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動 分析シート 振り返り用紙	観察手順と児の安全・安楽を考え観察や情報収集を行い、根拠をもとに十分に評価できている	観察手順を考え児の観察を行ったが安全や安楽性や評価が十分とは言えない	観察手順を考えず観察を行い、身体状態の評価も根拠に基づいていない	バイタルサイン、生理的变化、消化・吸収、皮膚、行動、反射、全身の観察			
	(8) 新生児の生活について学んでいる	ポートフォリオ インパクトシート 発言・行動 振り返り用紙	新生児の生活について情報収集し、根拠をもとに十分に評価している	情報収集や根拠をもとに評価することはできているが不足している部分がある	情報収集が不十分で根拠も明確にせず、自己の考えで評価している	保育環境、清潔、排泄、栄養、検査、安全、感染予防			
	(9) 新生児の看護について考え、できることを行うことができる	インパクトシート 発言・行動 振り返り用紙	児に合わせた援助を、声をかけながら実施し、実践内容とその時の児の反応を考察して記載している	援助を実施することはできたが、援助に集中し、児の反応の記載は具体性に欠けている	援助を実施することはできたが、学びの記載でとどまっている	バイタルサイン測定、身体の観察、オムツ交換、授乳時の観察と報告			
5. 母性看護学実習を通して、母性看護学の理解を深める	(10) 生命尊重、価値観（母性・父性観）を持つことができる	成長報告書 凝縮ポートフォリオ	自己のリフレクシオンと他者から獲得した学びから、述べることができている	自己のリフレクシオンから、自己の学びを明確にすることができている	リフレクシオンしているが、学んだことしか明確にすることができていない	ビジョンシート 日々のインパクト ポートフォリオ			
実習指導者 印			担当教員 印			優 良 可 不可	点/100点		